

# 徳之島事務所（令和6年1月分）管内情勢

## 農林水産業関連

### 1 奄美群島の花き生産者が、徳之島で栽培技術について意見交換

1月11日、徳之島にて奄美群島花き栽培技術研修会を開催し、生産者9人、農業センター研修生4人、関係機関14人の計27人が参加した。

生産者は場や農業開発総合センター徳之島支場、徳之島ダム、天城町農業センターで現地検討を行い、作式や土壌消毒方法など栽培管理について活発な検討がなされた。また、室内検討では、各産地のトルコギキョウの品種構成や自家育苗の取組について意見交換を行った。

今後も産地の交流を継続して行き、生産性向上に向けて支援していく。



### 2 地域内農産物の新たな魅力についてスイーツの試食を交えて検討

1月15日、「徳之島の農産物とスイーツのマッチング検討会」を開催し、地元産在来種落花生と茶、ピタヤをテーマにした菓子の試作・試食を通じて、地元農産物の魅力と可能性を再発見する取組を行った。

生産者、菓子製造業者、試験研究機関、スーパー関係者、女性農業者、町と農業普及課の関係者が参加し、島内の落花生と茶の生産状況について情報共有し、試作品を試食した。課題や意見も出されたが試作品は概ね好評であり、将来の可能性を感じられる有意義な会となった。



### 3 さらに繁殖成績の向上のために繁殖管理システムを学ぶ

1月23日、「繁殖管理システム活用フォローアップ勉強会」を開催し、生産者13人、関係者6人の計19人が参加した。

生産者は管理システムのユーザーで、繁殖管理の効率化や繁殖成績の向上を目的に導入している。勉強会は、システム活用をフォローアップすることで、さらなる活用の効率化と繁殖成績の向上を目的に開催した。

研修はweb形式であったが、講師との質疑応答では、かねて活用する中での質疑が活発になされた。今後も支援を継続し、生産牛の繁殖成績向上を目指す。

